

【目次】

1. アーカイブ No.10

連載「日本労働会館物語」第 7 回 2010.04.15 発行の第 8 号に掲載

2. 国民民主党・青年部 5 名が 10 月 14 日(土)来館見学・講演

3. 出張講演・UA ゼンセン大分県支部・第 12 回定期総会 10/28(土)～29(日)開催にて、常設展示の「日本労働運動の 100 年余」講演、98 名が参加

4. お知らせ 友愛労働歴史館の年末年始の臨時休館日

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1.アーカイブ No.10

連載「日本労働会館物語」第 7 回 2010.04.15 発行の第 8 号に掲載

連載「日本労働会館物語」第 7 回

<ユニテリアン主義—人間の尊厳、進歩と発達—>

今回はユニテリアン主義(思想、精神)について記述いたします。しかし、ユニテリアンでもなく、宗教の専門家でもありませんので、何人かの先達者や研究者の言葉を紹介し、また書籍紹介を行うことでユニテリアン主義の解説に代えます。因みに当館のモットー「人間の尊厳、進歩と発達」は、ユニテリアン思想を説明したマッコレー牧師(惟一館の責任者)の言葉です。

<ユニテリアン主義、ユニテリアンの定義>

1. クレイ・マッコレー牧師の「ユニテリアン思想」

「純正なるユニテリアン思想はキリスト教の真面目を社会に紹介せんとする宗教的運動、道徳的運動であり、この運動は深遠なる哲学と最も進歩せる科学と併行して発達し来り、今やキリストの精神をもって学問と協力し、人間の尊厳と人類の進歩発達を増進する」(松井七郎教授訳)

2. 土屋博政慶大名誉教授の「ユニテリアンの定義」

「ユニテリアンとは、諸宗教、諸思想は異なって見えても、究極的には一つと見て、自分と他者が掛け替えのない存在と考え、各々を尊重し、自由と寛容を大事にする、これを信条とする人々」(友愛会創立記念講演記録「ユニテリアン主義と友愛会の精神」より)

3. F・E・アバット(米国・自由宗教連盟の哲学者)の「自由宗教の『50 の確信』」

①宗教とは人間の自己完成への努力である。

- ②宗教の根源は普遍的な人間性である。
- ③歴史上の諸宗教は、根源が一つで共通である故にすべて同一である。
- ④歴史上の諸宗教は、その歴史上の源と発展が異なる故に、すべて異なっている。

(以下 略)

<ユニテリアンに関する主な書籍・論文>

ユニテリアン主義は多くの書籍で様々に語られていますが、ここではユニテリアン研究の第一人者、土屋博政教授の書籍・論文、「ユニテリアン友の集い」の紺野義継氏の訳書を紹介します。紺野訳は何れも専門的ですが、例えば『ユニテリアン思想の歴史—自由宗教の歴史の原史料による述作—』には16～20世紀の先達者の言葉が数多く記載され、興味深いものとなっています。

☆『ユニテリアンと福澤諭吉』土屋博政著、慶應義塾大学出版部

☆土屋博政教授論文：慶應義塾大学日吉紀要英語英米文学 No.33号「日本ユニテリアン協会の紛糾に関する一考察」、同35号「アーサー・ナップと日本ユニテリアン・ミッションの始まり」、同39号「なぜ日本ユニテリアン・ミッションは伸展しなかったのか」、同41号「なぜ福澤諭吉はユニテリアンに関心を失ったのか」、同47号「日本のユニテリアンの盛衰の歴史を語る」、同30号「ウィリアム・リスカムとユニテリアン主義」

☆『ユニテリアン思想の歴史』：デーヴィッド・B・バーク著（紺野義継訳）、アポロン社

☆『実存主義と自由宗教』ジョン・F・ヘイワード著（紺野義継訳）、アポロン社

☆『クリスチャンの友へ』ベルント・フリースマン著（紺野義継訳）、ヨルダン社

☆『自由宗教とは何か』F・ハイヤー、F・ピッツァー共著（紺野義継訳）、東京ユニテリアン教会

(連載第7回終り、文責：間宮悠紀雄)

2. 国民民主党・青年部5名が10月14日(土)来館見学・講演

10月14日(土) 国民民主党・青年部14名が、講義「日本労働運動の100年余」を受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を70分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」「反自民非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッ

セージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学し、記念撮影を行った。

皆さんとっても熱心に受講し、細かく見学した様子でした。

3. 出張講演・UA ゼンセン大分県支部・第12回定期総会 10/28(土)開催にて、常設展示の「日本労働運動の100年余」講演、98名が参加

UA ゼンセン大分県支部の定期総会が10月28日(土)に開催された。この度、特別講演として、友愛労働歴史館の常設展示の「日本労働運動の100年余」の解説講演を依頼されました。

内容は、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、期成会と友愛会の相違点、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の概観解説を受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)・松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を話しました。講演後には、大会レセプションで懇談。より講演内容を深め、同盟の流れに関心していました。

4.お知らせ

①友愛労働歴史館の年末年始の臨時休館日

年末年始と1/4(木)、1/5(金)臨時休館とします。

2023年12月28日(木)~2024年1月8日(月)の期間、友愛労働歴史館は休館とします。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

惟一館から128年、友愛会から110年